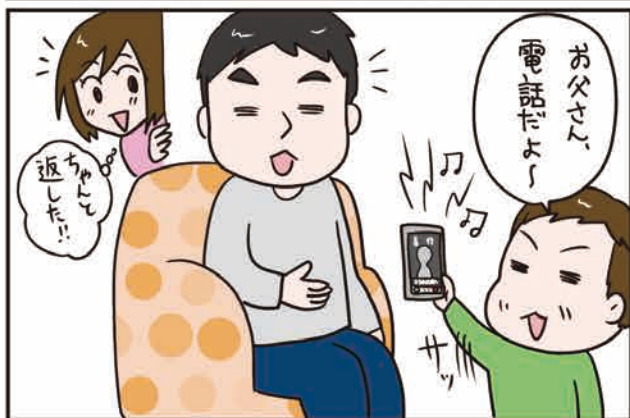


IT日和

イラスト 山本コウカ

vol.10 子どもとスマホ



App Store アプリのお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod Touch といった iOS 端末から読むことができます!



会誌「情報処理」



デジタルプラクティス

アプリのダウンロードはこちら(無料)

デジタル
会誌「情報処理」プラクティス



情報処理学会 会員募集中!!

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



研究会がたくさん♪

自分に合った分野が見つかりそう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp



論文誌ジャーナル掲載論文リスト Vol.57 No.5 (May 2016)



【特集：音楽情報処理技術の進歩とその拡がり】

- 特集「音楽情報処理技術の進歩とその拡がり」の編集にあたって 平井重行
- A Real-time Audio-to-audio Karaoke Generation System for Monaural Recordings Based on Singing Voice Suppression and Key Conversion Techniques Hideyuki Tachibana 他
- 聴覚障害者向けタッピングゲームにおける視覚手がかりによるリズム認知の短期的学習効果 松原正樹 他
- Performing STFT and ISTFT in the Microsound Synthesis Framework of the LC Computer Music Programming Language Hiroki Nishino
- メディアコンテンツを対象とした統計の一般化逆作用素構成方式とその楽曲メディアコンテンツ生成への適用 岡田龍太郎 他
- MPEG-4 Audio Lossless Coding (ALS) を用いた楽曲マスター音源アーカイブシステム 原田 登 他
- LyricsRadar: 歌詞の潜在的意味に基づく歌詞検索インタフェース 佐々木将人 他
- 歌声の印象評価尺度の構築に基づく多様な印象の自動推定手法 金礪 愛 他

【特集：社会に浸透する情報システム】

- 特集「社会に浸透する情報システム」の編集にあたって 富澤真樹
- 急性期脳梗塞治療支援システムの取り組み 小山裕司 他
- エンティティの存在従属性に着目した機能規模の測定 井田明男 他
- 行動履歴に基づく地域の環境要因を考慮した観光行動モデルの構築とその応用 笠原秀一 他

- マイクログログにおけるユーザの属性と習慣行動の推定に関する研究 加藤 諒 他

【一般論文】

- 連邦制における議席配分について† 一森哲男
- 議員定数配分問題とベータ・ダイバージェンス 一森哲男
- 西日の眩しさを考慮した経路探索アルゴリズム 松田大樹 他
- 共通語彙によるソフトウェア設計書の評価にむけた分析 奈加大樹 他
- XPath 充足可能性を判定する多項式時間アルゴリズムの提案と評価* 杉村憲司 他
- 測域センサと近距離無線通信を併用した高精度屋内測位* 樋口雄大 他
- A Combined-Activity Recognition Method with Accelerometers Kazuya Murao 他
- 属性ごとの観測確率を考慮したゼロショット学習 鈴木雅大 他
- The Study of the Evolution of Cooperation Based on an Alternative Notion of Punishment "Sanction with Jealousy" Tetsushi Ohdaira
- 入力文字数制限のない平仮名空中手書き文字の分割法* 重本賢太郎 他

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



論文誌トランザクション掲載論文リスト (May 2016)

【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.8】

- Part-wise Geodesic Histogram Shape Descriptor for Unstructured Mesh Series Segmentation Tomoyuki Mukasa 他



【論文誌 プログラミング Vol.9 No.2】

- LogChamber: Inferring Source Code Locations Corresponding to Mobile Applications Run-time Logs Yuki Ono 他
- An Intuitionistic Set-theoretical Model of CCw- Masahiro Sato 他



【論文誌 コンシューマ・デバイス&システム Vol.6 No.1】

- IoT 機器開発を簡単化するクラウド集約型遠隔制御システムの提案 田添宏治 他
- 角度センサを用いた障害者向け自動車操縦インタフェースの開発 湊 崇文 他

- SW-SVR を用いた施設園芸環境向け知的制御システムの評価 兼田千雅 他
- バランス Wii ボードによる脳血管疾患患者向け立ち上がりトレーニングツールの提案 村田嘉利 他
- 目標温湿度環境への遷移を最小コストで実現する家電制御システム 宵 憲治 他
- 物流倉庫での仕分け作業におけるウェアラブルデバイス適用方式 藤原貴之 他
- 深度カメラを用いたピッキング工程における作業ミス検知システム 宇田吉広 他
- ニアデータ処理向け FPGA アクセラレータ 岡田光弘 他
- 規格の違いを意識しない直感的家電制御システムの提案 梅山莉奈 他
- アクセス予測に基づいた広域冗長型安否システムの提案と基礎評価 永田正樹 他
- モダリティ解析の導入による対災害 SNS 情報分析システム DISAANA の質問応答性能の改善 水野淳太 他



会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、3月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「IT化と新聞」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■分野を問わず逆境に打ち勝ったりV字回復を成し遂げたりした方の記事など読んでいてエネルギーが湧いてくるような紙面が自分にとって理想的です。
(匿名希望)

特集「震災5年特別企画：災害科学と情報技術」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■当時はこうだった、5年経った今はICTでこうなっている、という視点でまとめられた方が読みごたえがあったのではないかと思います。
(匿名希望)

■震災から5年経過しますが、情報通信技術が防災や減災に貢献できることがいろいろあることを今回の特集でも再認識しました。
(阿部一晴)

■震災でさまざまな取り組みが進んだことはよく分かりました。ただ、災害時の情報の混乱を解決するための決定的な技術革新はまだないとも感じました。
(匿名希望)

■当時のデータが失われることなく保存されることと、それに対する検証が必要だと感じました。
(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：スウェーデンのIT生活」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■内容が古かった。
(匿名希望)

■世界一の評価ある「スウェーデン国・国民のIT生活」の一面を紹介いただき大変参考になりました。世界に誇る伝統的な文化を持つ日本が、政官財ハッカーなどのモラル欠如などでこの方面では遅れています。このコラムを参考に遅れを取り戻せるように、この際、学会も幅広く一般の人々にも分かりやすく啓蒙してほしいと思いました。
(嶋 廣二)

■海外のIT事情が聞けて興味深かった。
(吉田匠杜／ジュニア会員)

小特集「音楽情報処理による障害者支援」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■IT技術の進化に伴い障害者支援にも進化が見られることが分かり大変参考になった。
(匿名希望)

■採り上げる研究の幅をもう少し広げて良かったように感じた。
(匿名希望)

報告「安西祐一郎先生（本会元会長）インタビュー」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■最近の高校教育についてまったく知らなかったので、新しい知識を得ました。知らない人向けに、導入として現状の課題を整理していただくともっと良いと思いました。「高大接続システム」といきなり書かれても、何を言っているのか分かりません。「高速大規模な接続システム」と勘違いして読んでいました。読み進んでから、これはどうやら高校と大学間での接続システムなのではと思いました。このあたりについては何も知らない人でも分かるように説明していただいたほうが良いと思いました。そのシステムを構築するにあたり何が課題なのか分かりませんでした。
(藤森英明)

■女子部のアメリカ式教育の記事と合わせて、日本の教育をどうすべきなのか考えさせられた。
(匿名希望)

■高等学校教科「情報」はある意味大きな曲がり角にあるのかなとも思いますが、今回のインタビューで背景や今後の方向など考えるきっかけになりました。
(阿部一晴)

■大学入試改革が必要なことは理解できるが、子供たちはまだ基本的には旧試験を想定して小中高と学習してきている。1年の違いで混乱することのないよう、くれぐれも少しずつ慎重に行ってほしい。ちょうど境目にあたりそうな学年の子供や親は、すでに大変な不安感を持っています。
(匿名希望)

■何でもまねをすれば良いわけではないとは思いますが、他国ではどのようにしているのかを知りたいです。入試改革も良いのかもかもしれませんが、変えてしまう前に、変えた方が良いのかまたはどのように変えれば良いのかを、統計的手法などを使って調査してからにしては、とも思います。
(匿名希望)

解説「シンギュラリティが社会に与える影響」については、以下のご意見・ご感想をいただきました。

■タイトルに内容が追いついておらず残念でした。テーマは興味深いのにもったいないと感じました。
(匿名希望)

教育コーナー「ぺた語義：アジアにおけるIT人材育成の取り組みについて」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■アジアでの資格の互換性など今後の目標設定に役立った。
(吉田匠杜/ジュニア会員)

学会活動報告「IFIP—情報処理国際連合—近況報告」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■結局 IFIP がどんなものなのかよく理解できなかった。
(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■学習指導要領が改正されるが、情報科(教科)はどのように変化するのか。特に、大学入試とのかかわりを重点的に取り上げてほしい。
(水野光朗)

■毎号、ほとんどが消化不良になります。まず、個々が短すぎて十分に理解できないか、掘り下げの不十分な内容になっています。次に、文章としての出来にバラツキが多すぎます。専門の編集者がいないので止むを得ないかもしれませんが、フラストレーションがたまります。また、フォントすら統一されていないのも、奇妙です。最後に、学会誌として何を掲載していくかを見直す時期に来ているのではないのでしょうか？印刷している限り、速報性ではネットに敵わないわけですから、時間がかかるからこそその内容を届けてほしいと切望します。本質的な問題ではないのですが、紙は

もっと光沢を抑え、フォントは見直してほしい。2段組みが本当に適切なのかも疑問です(英語でのフル表記での折り返しが多くなって読みづらい)。(匿名希望)

■単一レベル記憶、データフローマシンなどかつて話題になったが今は廃れてしまった技術に関する記事。技術の良さや可能性は昔の論文をたどれば分かるのですが、技術的限界がどこにあったのか、現在でもそれらの派生技術は残っているのか、といった情報を集めるのは難しいです。識者の先生方の見解が聞けると情報として役立ちます。
(匿名希望)

■論文の書き方講座、博士号の道のりなどの記事を読みたいです。
(匿名希望)

■難しいかもしれませんが企業の取り組みにフォーカスした記事があると、実践的で面白いのではないのでしょうか。
(匿名希望)

■「〇〇と情報技術」シリーズで、身近なところで情報技術が役立っていることをやさしく概説してほしい。たとえば、ホテル・レストラン予約、車の予約やナビ、TV視聴、通販の注文と宅配、カメラ監視など。
(匿名希望)

■会誌の中で、いろいろな文字フォントを使っていますが、できれば文字フォントを統一した方が良いと思います。特に気になったのが、文字としておかしい文字フォントがあることです。直すべきと思います。
(藤森英明)

【本欄担当 川本淳平、花田英輔/会員サービス分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>>で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「2020年に向けた情報処理技術」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-K.html	5月31日 (火)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-L.html	7月22日 (金)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-F.html	8月10日 (水)		
	論文誌「離散と計算の幾何・グラフ・ゲーム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/17-N.html	10月31日 (月)		
5月16日 (月)	東海支部特別講演「IoT最新事例とデータ活用の仕組み作りについて」 http://www.ipsj-tokai.jp/			HOTEL ルブラ王山 (名古屋市)
5月16日 (月)	東海支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2016.html			HOTEL ルブラ王山 (名古屋市)
5月16日 (月) ~ 5月17日 (火)	第226回自然言語処理・第111回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl226slp111.html	4月4日 (月)	当日のみ	東京工業大学 大岡山キャンパス
5月20日 (金) ~ 5月21日 (土)	第19回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle19.html	3月18日 (金)	当日のみ	信州大学長野 (工学) キャンパス
5月21日 (土) ~ 5月22日 (日)	第111回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus111.html	3月25日 (金)	当日のみ	東海大学 高輪キャンパス
5月23日 (日)	中国支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2016.html			サンビーチ岡山 (岡山市)
5月24日 (火)	関西支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2016.html			京都リサーチパーク AV会議室
5月26日 (木) ~ 5月27日 (金)	第167回マルチメディア通信と分散処理・ 第79回モバイルコンピューティングとバーベイズシステム・ 第65回高度交通システムとスマートコミュニティ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps167mbl79its65.html	3月15日 (火)	当日のみ	沖縄産業支援センター
5月26日 (木) ~ 5月27日 (金)	第73回コンピュータセキュリティ・第33回インターネットと 運用技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec73iot33.html	3月18日 (金)	当日のみ	とりぎん文化会館
5月28日 (土) ~ 5月29日 (日)	第50回ユビキタスコンピューティングシステム研究会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi50.html	4月1日 (金)	当日のみ	台湾国立暨南国際大学
5月30日 (月) ~ 5月31日 (火)	第137回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os137.html	4月18日 (月)	当日のみ	ホテルモントレー沖縄
5月30日 (月) ~ 5月31日 (火)	第13回デジタルコンテンツクリエーション研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dcc13.html	4月25日 (月)	当日のみ	金沢工業大学
6月2日 (木) ~ 6月3日 (金)	第168回ヒューマンコンピュータインタラクション・ 第40回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci168ec40.html	4月8日 (金)	当日のみ	岩手県立大学 アイーナキャンパス
6月2日 (木) ~ 6月3日 (金)	第16回コンシューマ・デバイス&システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cds16.html	4月15日 (金)	当日のみ	富士通トラステッド クラウドスクエア
6月2日 (木) ~ 6月3日 (金)	第192回ソフトウェア工学・第41回組込みシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se192emb41.html	4月20日 (水)	当日のみ	東海大学 高輪キャンパス
6月2日 (木) ~ 6月3日 (金)	第72回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip72.html	4月20日 (水)	当日のみ	情報セキュリティ 大学院大学
6月3日 (金)	2016年度定時総会 http://www.ipsj.or.jp/topics/soukai20160603.html			学士会館
6月6日 (月) ~ 6月7日 (火)	ハイパフォーマンスコンピューティングと 計算科学シンポジウム (HPCS2016) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-hpcs2016.html	1月29日 (金)	当日可 事前割引締切: 5月13日	東北大学 片平キャンパス
6月9日 (木) ~ 6月10日 (金)	第109回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro109.html	4月8日 (金)	当日のみ	浜松市福祉交流 センター
6月10日 (金)	四国支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2016.html			徳島大学工学部内 工業会館
6月11日 (土)	第136回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is136.html	4月15日 (金)	当日のみ	國學院大学 渋谷キャンパス
6月22日 (水)	東北支部報告会 http://www.ipsj.or.jp/annai/shibu/shibu_tayori2016.html			東北大学
6月24日 (金) ~ 6月25日 (土)	第158回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al158.html	4月17日 (日)	当日のみ	石川県教育会館
6月25日 (土)	第34回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot34.html	4月25日 (月)	当日のみ	京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス
6月28日 (火)	連続セミナー 2016 第1回「実世界に埋め込まれる人工知能」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	化学会館/ 大阪大学中之島センター
7月2日 (土)	第135回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce135.html	5月11日 (水)	当日のみ	信州大学
7月4日 (月) ~ 7月6日 (水)	第108回数理モデル化と問題解決・第46回バイオ研究合同発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps108bio46.html	5月6日 (金)	当日のみ	沖縄科学技術大学院 大学
7月6日 (水) ~ 7月8日 (金)	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2016) シンポジウム http://dicomo.org/	3月22日 (火)		鳥羽シーサイドホテル
7月11日 (月)	東海支部主催講演会「子供たちの未来とIT教育のこれから」 http://www.ipsj-tokai.jp/			名古屋工業大学

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
7月14日(木)～ 7月15日(金)	第74回コンピュータセキュリティ・第19回セキュリティ 心理学とトラスト合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/csec74spt19.html	5月10日(火)	当日のみ	山口大学吉田キャン パス大会館
7月22日(金)	連続セミナー 2016 第2回「ビッグデータ利活用を支えるクラウド基盤技術」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	日本大学理工学部駿河 台校舎1号館／ 大阪大学中之島センター
7月28日(木)～ 7月30日(土)	第112回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp112.html	5月13日(金)	当日のみ	天童温泉・ほほえみの 宿「滝の湯」
8月22日(月)～ 8月23日(火)	第13回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.neteco.jp/symposium/2016/index.html	6月24日(金)	定員になり次第	かずさアカデミアホー ル(千葉県木更津市)
8月22日(月)～ 8月24日(水)	情報教育シンポジウム2016 (SSS2016) http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2016	5月9日(月)		グリーンピア大沼
8月31日(水)～ 9月2日(金)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2016 (SES2016) http://ses.sigse.jp/2016/			東洋大学 白山キャンパス
9月5日(月)～ 9月6日(火)	第163回コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究発表会 www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg163.html	6月30日(木)	当日のみ	宇奈月温泉 杉乃井ホテル
9月7日(水)～ 9月9日(金)	FIT2016 第15回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2016/	4月13日(水)		富山大学 五福キャンパス
9月12日(月)～ 9月13日(火)	平成28年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会 http://www2.iee.or.jp/~tokai/rengo2016/	6月30日(木)		豊田工業高等専門学校 (愛知県豊田市)
9月12日(月)～ 9月14日(水)	第11回セキュリティ国際ワークショップ (IWSEC2016) http://www.iwsec.org/index.html			御茶ノ水ソラシティ
9月14日(水)～ 9月16日(金)	第8回コラボレーション技術に関する国際会議 (CollabTech2016) http://www.collabtech.org/			石川県政記念いのき 迎賓館
9月14日(水)～ 9月16日(金)	DA シンポジウム2016 ―システムとLSIの設計技術― http://www.sig-sldm.org/das/	6月24日(金)		山代温泉ゆのくに天祥
9月26日(月)	関西支部支部大会 http://kansai.ipsj.or.jp/sibutaikai_2016/index.html	6月17日(金)		大阪大学中之島センター
9月29日(木)～ 9月30日(金)	平成28年度(第69回)電気・情報関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月13日(水)	聴講事前参加 申込期間6/13-8/12	宮崎大学 (木花キャンパス)
9月30日(金)	連続セミナー 2016 第3回「スマートなヘルスケアとライフケア」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	日本大学理工学部駿河 台校舎1号館／ 大阪大学中之島センター
10月4日(火)～ 10月6日(木)	第9回モバイルコンピューティングとユビキタスネットワークに関する国際会議 (ICMU2016) http://www.icmu.org/icmu2016/			DFKIKaiserslautern, Germany
10月20日(木)～ 10月22日(土)	組込みシステムシンポジウム2016 (ESS2016) http://www.sigemb.jp/ESS/2016/			早稲田大学
10月28日(金)	連続セミナー 2016 第4回「広がりを見せるIoTの現状と今後の展望」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	日本大学理工学部駿河 台校舎1号館／ 大阪大学中之島センター
11月15日(火)	連続セミナー 2016 第5回「メディアアート」 http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2016/index.html		定員になり次第	化学会館／ 大阪大学中之島センター

2017年

3月16日(木)～ 3月18日(土)	情報処理学会第79回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/79/			名古屋大学 東山キャンパス
-----------------------	---	--	--	------------------



Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 4月19日 論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集論文募集
- 4月15日 人材募集情報 (Vol.57No.5)
- 4月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.57No.5)
- 4月1日 2016 年度役員改選の投票結果について
- 4月1日 2016 年度代表会員名簿
- 4月1日 2016 年度シニア会員申請のご案内 (締切: 7/31 迄)

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web 掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号（15 日発行）に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円（税込 21,600 円）
賛助会員（企業） 税抜 30,000 円（税込 32,400 円）
賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円（税込 54,000 円）

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部（有料会告係） E-mail: edit@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■自然科学研究機構国立天文台

募集人員 技術職員（係員相当／正規職員） 1 名（任期なし（定年 60 歳））
所 属 国立天文台 天文データセンター
職務内容 (1) 国立天文台の情報ネットワークシステムの運用と機能向上、(2) ネットワーク利用者への支援、(3) 外部機関との連携・調整業務
応募資格 大学・高等専門学校卒業、またはそれと同等以上の学歴を有する方。天文学に関する専門知識は問いません。ICT オペレーションに必要な基礎力・応用力を有する人材を求めます
着任時期 決定後なるべく早い時期
提出書類 下記 Web ページをご覧ください
応募締切 2016 年 5 月 27 日（正午必着（日本時間））
送 付 先 応募書類をメール添付で送付 宛先: apply-eng20160527@nao.ac.jp 件名:「天文データセンター技術職員 応募」
照 会 先 総務課人事係 E-mail: apply-eng20160527@nao.ac.jp Tel(0422)34-3658
そ の 他 提出書類等、募集内容詳細が国立天文台の Web ページ (<http://www.nao.ac.jp/about-naoj/recruit.html>)「採用情報」の「国立天文台天文データセンター 技術職員（係員相当）一般公募」にあります。ご応募の前に必ずご確認ください

■岐阜大学工学部電気電子・情報工学科（情報コース）

募集人員 助教 1 名
専門分野 ソフトウェアサイエンスの基礎分野。特に、関数型言語とその理論的基盤となる型理論等のプログラム理論に関する分野と、型システムや定理自動証明に基づくソフトウェア検証技術。関数型言語による大規模ソフトウェア開発経験者が望ましい
担当科目 情報工学実験、工学基礎実験、情報工学関係の演習、全学共通科目・工学基礎科目の授業を担当していただくこともあります
応募資格 博士の学位を有するか着任までに博士の学位取得見込みの方
着任時期 2016 年 8 月 1 日以降のできるだけ早い時期
提出書類 (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト（原著学術論文、国際会議論文（査読の有無別）、著書、解説、特許、その他に分類のこと）、(3) 主要論文別刷（5 編以内、コピー可）、(4) これまでの研究教育活動の概要、(5) 教育・研究に対する抱負、(6) 応募者について照会できる方 2 名の氏名と連絡先
応募締切 2016 年 6 月 1 日（必着）
送 付 先 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸 1-1 岐阜大学工学部電気電子・情報工学科情報コース事務室 Tel(058)293-2673
「助教応募書類在中」と明記のこと
照 会 先 工学部電気電子・情報工学科 情報コース長 速水 悟 E-mail: hayamizu@gifu-u.ac.jp
そ の 他 本学では、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、男女共同参画を推進しています。業績や能力などが同等であれば女性を採用する方針であるため、女性研究者の積極的な応募を望んでいます

■大阪工業大学情報科学部コンピュータ科学科

募集人員 准教授、講師または特任准教授、特任講師 1 名（注：特任の場合は、最長 5 年の有期雇用、待遇は本学規定による）
専門分野 画像処理
担当科目 画像処理、信号処理、数値計算演習（画像処理）、周波数解析、コンピュータ科学基礎演習（画像処理）、コンピュータ科学専門演習（画像処理）、情報ゼミナール、卒業研究など
応募資格 ・画像処理の基礎または応用（たとえば数値計算フォトグラフィ、動画画像処理、3次元可視化、Scene Understanding 等）に関して第一線での開発かつ実用化の経験があり、画像処理のソフトウェア開発や組み込みシステムへの適用および教育指導ができること、
・企業と連携した開発成果があることが望ましい、
・博士の学位を有すること
着任時期 2017 年 4 月 1 日
応募締切 2016 年 6 月 6 日（必着）
照 会 先 情報科学部事務室 Tel(072)866-5301 E-mail: OIT.ibu@joshu.ac.jp
そ の 他 詳細は大学 Web ページ (<http://www.oit.ac.jp/>) をご参照ください

■大阪工業大学情報科学部情報システム学科

募集人員 准教授、講師または特任准教授、特任講師 1名（注：特任の場合は、最長5年の有期雇用、待遇は本学規定による）
専門分野 ソフトウェア領域（ソフトウェア工学、ソフトウェア開発技術）
担当科目 プログラミング言語論、人工知能、UNIXシステム入門、Webシステム構築等の講義・演習科目に加え、卒業研究を担当していただく。
また、基礎ゼミナール等の導入教育に加え、キャリア教育科目等も担当していただくことがある
応募資格 ・情報系の大学院で博士の学位を取得しており、研究業績に優れた方、・大学院教育では、情報科学研究科博士前期課程の授業と研究指導補助ができること
着任時期 2017年4月1日
応募締切 2016年6月6日（必着）
照会先 情報科学部事務室 Tel(072)866-5301 E-mail: OIT.ibu@josho.ac.jp
その他 詳細は大学Webページ (<http://www.oit.ac.jp/>) をご参照ください

■大阪工業大学情報科学部情報ネットワーク学科

募集人員 准教授、教授または特任准教授、特任教授 1名（注：特任の場合は、最長5年の有期雇用、待遇は本学規定による）
専門分野 ネットワークアプリケーション
担当科目 学部：メディア通信論、ネットワークロボティクス、システムセキュリティ、情報ネットワーク基礎／専門演習、C演習、Java演習、情報技術者論、基礎ゼミナール、情報ゼミナール、卒業研究
大学院：情報科学特論
応募資格 ・情報ネットワークアプリケーションやコミュニケーションソフトウェアにおいて第一線での研究開発経験があり、単独で当該分野ならびに情報ネットワークの教育および研究指導ができること、・大学院教育では、博士前期課程の授業と研究指導、博士後期課程の研究指導ができること（准教授の場合は研究指導補助）、・博士の学位を有すること
着任時期 2017年4月1日
応募締切 2016年6月6日（必着）
照会先 情報科学部事務室 Tel(072)866-5301 E-mail: OIT.ibu@josho.ac.jp
その他 詳細は大学Webページ (<http://www.oit.ac.jp/>) をご参照ください

■情報・システム研究機構国立情報学研究所

募集人員 准教授または助教 若干名（※教授での採用を考慮する場合あり、任期：5年（再任または昇任を行う場合あり））
研究開発分野 (1)情報学プリンシプル研究分野、(2)アーキテクチャ科学研究分野、(3)コンテンツ科学研究分野、(4)情報社会関連研究分野
応募資格、資質・経験等 原則として博士の学位取得または取得見込みの方（人文・社会科学系の研究者にあっては、これに準ずる方を含みます）、各分野において、独創的かつ革新的な研究や新しいコンセプトによる情報システムの研究開発を遂行するのに十分な資質と意欲を有する方
着任時期 原則として2017年4月1日
提出書類 2016年6月30日（必着）
照会先 (1)応募書類、身分等について：総務部総務課人事チーム E-mail: koubo@nii.ac.jp Tel(03)4212-2025 ~ 2026 Fax(03)4212-2035
(2)研究内容について：アーキテクチャ科学研究系・教授 佐藤一郎 E-mail: koubo@nii.ac.jp Tel(03)4212-2546
その他 選考方法、提出書類等の本公募に関する詳細は、本研究所Webページ (<http://www.nii.ac.jp/about/recruit/>) を参照ください

■東京電機大学情報環境学研究科

募集人員 プロジェクト研究員（教授、准教授、助教） 1～2名（常勤、任期あり）
専門分野 インターネットセキュリティ
応募締切 2016年6月30日（必着）
照会先 情報環境学研究科 小林 浩 E-mail: hirokoba@mail.dendai.ac.jp Tel/Fax(0476)46-8469
その他 詳細はWebページ (<http://www.nc-lab.sie.dendai.ac.jp/recruit2016.pdf>) を参照ください

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショ ップ，講演会，講習会などの論文募集・ 参加者募集	1 ページ，1/2 ページ または 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	50,000 円 (税込 54,000 円)
			1/2 ページ	30,000 円 (税込 32,400 円)
			1/4 ページ	20,000 円 (税込 21,600 円)
			(協賛)	
			広告として取り扱う	
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	20,000 円 (税込 21,600 円)
			賛助会員（企業）	30,000 円 (税込 32,400 円)
			賛助会員以外の企業	50,000 円 (税込 54,000 円)
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円 (税込 4,320 円) で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

CONTENTS

Preface

Producing Children's Creative Learning Environment in the Digital Age

Nanako ISHIDO (Keio Univ. / CANVAS / Digital ehon)

Special Article

502 The Victory of AlphaGo

Hitoshi MATSUBARA (Future Univ. Hakodate)

Special Features

Advancing Information Sciences through Research on Music

504 0. Foreword

Tetsuro KITAHARA (Nihon Univ.) and Hidehisa NAGANO (NTT)

506 1. Music Signal Processing

Hirokazu KAMEOKA (NTT)

510 2. Music and Language

Satoshi TOJO (Japan Advanced Institute of Science and Technology)

513 3. Music and Speech Processing

Daisuke SAITO (The Univ. of Tokyo)

516 4. Music and Content Generation

Satoru FUKAYAMA and Masataka GOTO (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))

519 5. Music and Machine Learning

Kazuyoshi YOSHII (Kyoto Univ.)

523 6. Music and Information Retrieval

Keiichiro HOASHI (KDDI R&D Labs.)

526 7. Human Computer Interaction of Music Activities

Yoshinari TAKEGAWA (Future Univ. Hakodate)

529 8. Music and Visualization

Takayuki ITOH (Ochanomizu Univ.)

532 9. Music and the Web

Masahiro HAMASAKI and Masataka GOTO (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST))

535 10. Music and Entertainment Computing

Tetsuaki BABA (Tokyo Metropolitan Univ.)

538 11. Music and Robot

Takeshi MIZUMOTO (Honda Research Institute Japan Co., Ltd.)

541 12. Music and Neuroscience

Hiroki TERASHIMA (NTT)

Articles

544 Programming by Programs - The Cutting Edge of Program Synthesis -

Akimasa MORIHATA (The Univ. of Tokyo)

Series : Pilgrimage to Vintage Computers / Trail Blazers' Recollections of 0's and 1's

550 2015 Nomination of the Information Processing Technology Heritages

Hiroharu ASAHII (Secretary of the Committee of History of Computing)

Senior Column : Messages on Favorite IT

554 Rethinking of Artificial Intelligence Research through Marvin Minsky Remembrance Symposia

Yoichi TAKEBAYASHI (Graduate School of Integrated Science and Technology)

"Peta-gogy" for Future

555 The Educational Reform is the Responsibility of All Grown-ups!

Hiroyoshi WATANABE (Teikyo Univ.)

556 Past of Digital Textbooks, Present, and Future

Kyutaro HARA (eText Lab Inc.)

560 Biblio Talk

562 Conference Report

564 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax:(03)3518-8375

ご意見をお寄せください！

〔6月10日頃までにお出しく下さい〕

宛 先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html> Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp
 （E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください）
 ※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
<http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>

〔コード〕

〔1〕 ご氏名

〔2〕 ご所属 Tel. () -

〔3〕 E-mail:

〔4〕 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
 (e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員） (g) その他..... 4- []

〔5〕 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
 (f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
 (h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員） (j) その他 5- []

〔6〕 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []

〔7〕 性別： (a) 男性 (b) 女性 7- []

〔8〕 あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ 8- []

〔9〕 あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
 (a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []

〔10〕 今月号（2016年6月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
 [a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

巻頭コラム：デジタル時代の子どもの創造的な学びの場をつくる..... 10-1- []

特別解説：速報 AlphaGo の勝利 10-2- []

特集：音楽を軸に拡がる情報科学

1. 音楽と信号処理 10-3- []

2. 音楽と言語 10-4- []

3. 音楽と音声情報処理 10-5- []

4. 音楽とコンテンツ生成 10-6- []

5. 音楽と機械学習 10-7- []

6. 音楽と情報検索 10-8- []

7. 音楽とヒューマン・コンピュータ・インタラクション 10-9- []

8. 音楽とヴィジュアルイゼーション 10-10- []

9. 音楽と Web 10-11- []

10. 音楽とエンタテインメントコンピューティング 10-12- []

11. 音楽とロボット 10-13- []

12. 音楽と脳科学 10-14- []

プログラミングするプログラム..... 10-15- []

古機巡礼 / 二進伝心：2015 年度情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式 10-16- []

IT 好き放題：Minsky 追悼を機に AI 研究を再考する 10-17- []

べた語義：教育改革は大人の責任！？ 10-18- []

べた語義：デジタル教科書の過去、現在、そして明日 10-19- []

ピブリオ・トーク：LEAN IN（リーン・イン） 女性、仕事、リーダーへの意欲 10-20- []

会議レポート：DEIM 2016 参加報告 10-21- []

会誌編集委員会女子部 10-22- []

連載漫画：IT 日和 10-23- []

〔11〕 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

〔11-1〕 良かった記事 11-1- []

〔11-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []

〔11-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []

a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕 選んだ理由（下記から，いくつでも選択可） 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 音楽を軸に拡がる情報科学：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会誌配布，会員特典，会費等口座振替，海外からの送金，賛助会員，電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，コンピュータ博物館（情報処理技術遺産），著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読，DP レポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル／JIP／トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，研究グループ，シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会，情報処理教育委員会，ア kreditation 対応，認定情報技術者制度
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，プログラミングコンテスト，プログラミング・シンポジウム，協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー，短期セミナー，IT フォーラム，ソフトウェアジャパン，その他講習会
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会，支部，選挙，総務系選奨，関連団体，アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，セキュリティ，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

音楽情報科学研究会の主査だからということで、今回の特集のゲストエディタという大役を仰せつかった。ちょうどそのとき、音楽情報処理が情報処理の一分野というより、音楽を扱った研究は情報処理のあらゆる分野に登場すると感じていた。その思いをベースに企画を考えたところ思いのほか好評で、今回のような内容で行くことになった。内容の特性上、幅広い分野を扱う必要があるもので、通常よりも1記事あたりのページ数を減らして多くの記事を掲載することとなった。最初は2ページ見開き完結の記事が20～30本あったらインパクトがあるだろうなと思ったが、さすがにそれはやりすぎということ

になって、3ページの記事を12本掲載することとなった。それでも著者が多いことには変わりなく、全然締切通りに原稿を送ってくれないわ、別件の打合せで会えば「3ページじゃ何も書けないよ」と文句を言われるわで、本当に苦労した。原稿がある程度揃ってから閲読を開始したため、締切を守ってくださったごく少数(!)の著者の方々には、修正依頼が遅くなって大変ご迷惑をおかけした。こんな感じで大変苦労した特集だが、結果的にはなかなか読み応えのある特集になったと思う。ぜひご自身の研究開発に役立ててもらえれば幸いである。

(北原鉄朗／本特集ゲストエディタ)

現在、我々は日常のさまざまな場面で音楽を楽しんでいる。携帯電話やスマートフォンで音楽を楽しむことが当たり前になり、どこにいてもいつでも音楽を楽しむことができる。ネットを通じて膨大な量の音楽にアクセスもできる。そして、自分でもタブレットなどで音楽を作り、世界中に発信することも可能になった。このような音楽の拡がりには情報処理技術の進歩によるところが大きい。逆に、音楽はそのさまざまな魅力から情報処理(情報科学)の多くの分野で研究の対象として取り上げられている。音楽と情報処理は二人三脚で発展してきたよう

に思える。少なくとも今日のIT社会の発展に音楽というアプリケーションの存在は大きい。今回、そのような音楽と情報処理のさまざまなかわりを12本の記事で紹介した。本特集を読むとあらためて音楽と情報処理の関係の深さを感じていただけたと思う。

なお、今回、年度末の多忙な時期にもかかわらず執筆いただいた著者のみなさまに感謝する。そして、ゲストエディタをお引き受けいただいた北原先生に心よりお礼申し上げる。

(永野秀尚／本特集エディタ)

次号(7月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」Linked Open Data の利活用

Linked Open Data の原理原則と最近の進歩／テキスト処理とセマンティック Web 技術を用いた生物情報の LOD／地理空間情報と LOD／国立国会図書館における LOD の取り組み—出版物に関するメタデータと国際書誌コントロール—／政府共通語彙基盤と次の課題／シビックテックと LOD—関西の活動を中心として—

「小特集」乗り物の情報セキュリティと安全性

情報セキュリティと乗り物／セーフティとセキュリティ／車載機器のセキュリティと安全性／鉄道のセキュリティと安全性～無線を活用した列車制御におけるセキュリティと安全～／乗り物のハッキングと安全性—アビエーション・セキュリティについて—

解 説：情報処理と公衆衛生……………奥村貴史

教育コーナー：ぺた語義

連 載：古機巡礼／二進伝心／ビブリオ・トーク／女子部が行く！／会誌編集委員会女子部／IT 日和

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

会議レポート：第20回情報処理学会シンポジウムインタラクシオン 2016 参加報告—ますます拡大するインタラクシオンコミュニケーション—

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	330,000 円 (税込 356,400 円)	—	—
表 3	275,000 円 (税込 297,000 円)	—	—
表 4	385,000 円 (税込 415,800 円)	—	—
表 2 対向	300,000 円 (税込 324,000 円)	—	—
表 3 対向	265,000 円 (税込 286,200 円)	190,000 円 (税込 205,200 円)	155,000 円 (税込 167,400 円)
前付 1 頁	250,000 円 (税込 270,000 円)	165,000 円 (税込 178,200 円)	135,000 円 (税込 145,800 円)
前付 1/2 頁	—	—	80,000 円 (税込 86,400 円)
前付最終	—	—	148,000 円 (税込 159,840 円)
目次前	—	—	148,000 円 (税込 159,840 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	275,000 円 (税込 297,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	350,000 円 (税込 378,000 円)		
同封 (A 判 1 枚)	350,000 円 (税込 378,000 円)		

■「情報処理」

発 行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000 部
 体 裁 A4 判
 発 行 日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

■問合せ・お申込み先

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27
 アドコム・メディア (株) (Tel/Fax/E-mail は下に記載)

* 原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 * 同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック ☐ を入れ、送付希望先をご記入の上、Fax にて（または E-mail にて必要事項を記入の上）アドコム・メディア (株) 宛にご請求ください。

■「情報処理」 57 巻 6 号 掲載広告（五十音順）

- ☐ インタフェース 表 2 ☐ フォーラムエイト 目次前
☐ 講談社 表 2 対向
☐ すべての会社を希望

■資料送付先

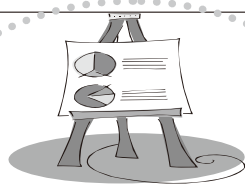
フリガナ お 名 前			
勤 務 先	所属部署		
所 在 地	(〒 -)		
TEL ()	-	FAX ()	-
ご専門の分野			



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア (株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

**MITSUBISHI
ELECTRIC**
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルートホールディングス

Google™

グーグル (株)

docomo **TOSHIBA**

(株) NTT ドコモ

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

NTT Data

NTT データ (株)

OKI

沖電気工業 (株)

GREE

GREE (株)

楽天

楽天 (株)

JISA

情報サービス産業協会

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

uejima

(株) うえじま企画

SANBI SONY

三美印刷 (株)

ソニー (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8

(株) フォーラムエイト